

2024年度 第3回自然学習講座



40万人の  
とよなか  
未来バトン  
SDGs to 2030



# クビアカツヤカミキリの 脅威と防除



クビアカツヤカミキリの成虫



巣喰われた樹木のフラス（食べかす等）

クビアカツヤカミキリは中国原産の外来種で、国内では2012年に愛知県で発見されて以来、猛烈に分布を広げています。大阪府内では南部から分布が拡大し、ついに昨年、豊中市でも見つかりました。幼虫はサクラやウメなどの樹木に巣喰って枯らしてしまう、非常にやっかいな昆虫です。

今回は、クビアカツヤカミキリの駆除対策を実践されている方に、その被害の実態や、駆除対策についてお話しいたします。

**日時：2025年3月16日（日）14:00~16:00**

**場所：豊中市立中央公民館 3階視聴覚室**

**講師：土居 常隆さん**  
(富田林市公園緑化協会 樹木医)

**参加費：無料**

**定員：40人（先着順）**

**申込み：3月13日（木）までにアジェンダ21へ**

**電話：06-6844-8611（環境交流センター内）**



**主催：NPO 法人とよなか市民環境会議アジェンダ21 自然部会**

(この事業は豊中市立環境交流センター指定管理事業として開催します)